

# 西区会

## トライやる・ウィーク 盲学校生への介助 ボランティア

西区会々会長

園7 西 松岡 泰彦

2004年11月15日(月)～19日(金)の5日間、市立盲学校中学部2年生の3人がトライやるウィークの一環で西区樋谷町寺谷で農業を営んでいる高尾 和幸さんの協力で農作業に従事することになった。

その作業を介助するために、わ 西地区から毎日2人延10人(実質6人)がボランティアとして参加した。

トライやる での作業内容

鋸を使って竹炭用の竹の切断および鉋での竹割り、炭竈へのマッチによる火付けと竹炭作り  
竹林の古竹の伐採された竹の

運び出しと焼却作業

台風による土砂崩れ跡の土留め作業と田に流入した土砂の搬出作業

田圃でレンゲ草の種まき、大根の収穫と箱詰め

ミニトマト包装用ビニール袋へのバーコードシール貼り、その他

子供達はすべてが初めての経験で特に鉋や鋸、木槌あるいはマッチの扱いなど、最初はとまどっていたが慣れるとともに結構楽しんでた。

介助する我々も当初うまくやれるか不安があったが、子供達がみんな素直で明るい子達だったので直ぐに打ち解けて、気持ちよくお手伝いできたように思っている。また障害者に対する理解も深まり大変勉強になった。

# ティータイム

## 決死行

食5 灘 井上 善道

とうとう11月23日という日がやって来てしまいました。きょうは労災病院のステンレスのエレベータ扉を磨くと約束した日なのです。とても緊張しています。すこし大げさにいうと敵前上陸をする兵士の心境です。

「なんで？」そう思われる諸兄はステンレスにあまり関心のない方だと思います。「大変な挑戦だな」と言って下さる方が、もしおられたら、私も嬉しくて涙がちょちょぎれてしまいます。

ステンレスは実に難物です。水洗いだけでも結構綺麗にはなります。でも、汚れがないのと、見た目が綺麗とは関係がないようで、「拭きムラ」がとても目立つのです。まして手垢が付いているからと、拭きでもしたら大変！そこだけ大きなあはたができたみたいに目立ってしまいます。製鋼メーカーに始めてインターネットの世界でも情報を集め回りました。水・酢・アルコール・・・、考え得るあらゆるもので試してみました。そしてある特殊なワックスを使うことに決めました。手形のべったりと付いた扉を横目にみながら半年間、研究と予行演習は十二分に済ませたつもりです。でも、小机程度の面積を磨き上げると、縦何メートル横何メートルにもなる大きな扉をムラ無く磨き上げるのは全く違います。しかも、玄関やエレベータ

周りだけは他とは違った特殊な表面仕上げ(磨き)のステンレスなので予行演習ができないでいたのです。

「暗くなっても帰ってこなかったら、失敗してるんだと思っておいて」家内にはそう告げて7時に出発しました。

まず、受付の周りの5本の飾り柱で試して見ました。予想通り難物です。正面から見ると完璧に見えても、チョット角度を変えてみると拭き取った手の動きがそのまま残って見えます。エレベータの扉は到着を待つ間、多くの人がじっと見つめるので、ここの綺麗・汚いは病院の清潔度の評価に即つながりかねません。

たった一人ではありますが労災病院では、私が“わ”であり、シルバーカレッジです。やりかけて途中で放り出す訳には絶対行きません。

暗くなった街を肩を落として帰る自分の姿が脳裏を過ぎります...

「アレ？」5本の飾り柱のうちの1本だけが、上から見ても下から見ても、斜めから光を当てても、拭きムラが見えません。とうとう要領がつかめたのです。

覚悟を決めて全ての扉にワックスを塗りました。じりじりとして乾燥するのを待ちました。1時間後、一気に電動ポリシャで磨きに掛かりました。予想は的中です。面白いように綺麗になって行きました。

明るい内に家に帰り着いて、非常な充足感に浸りながら一日を終えました。



鉋での竹割り



土砂崩れ跡の土留め作業

## 編集後記

皆様、明けましておめでとうございます。災の字で暮れ掛けた歳末に惨の字が加わった昨年でしたが、ことしは何か吉兆を見たいものですね。

歳は取っても紙面は若くを心掛けています。とは言い条生来出不精で、皆様の投稿だけを頼りに仕事してます。どうぞことしもお協力、ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。(サン)